

令和4年1月25日

京都市建設局

担当：みどり政策推進室

電話：075-222-4113

**旧公園管理事務所棟を有効活用！**

## 公民連携 船岡山公園



# 利活用トライアル事業試行的利用スタート！！

京都市では、都市の魅力、活力、憩いを生み出す貴重な空間である公園を最大限に利活用し、その魅力や利便性を高めていくため、民間企業等を公募のうえ、社会実験として、柔軟な発想で公園の試行的利用を行う「公民連携 公園利活用トライアル事業」を推進しています。

そのうち、令和3年9月に募集した、船岡山公園の試行的利用について、以下のとおり候補者を選定し、令和4年4月の本格稼働を目指して、2月1日（火）から先行して公園管理を開始しますので、お知らせします。

今後、その他の実施内容についても、調整が整い次第、随時本市公式ホームページ等でお知らせします。

### 1 試行的利用者

船岡山公園チーム（以下、構成団体）

- ・ (株)一級建築士事務所 STUDIOMONAKA（代表企業）  
京都の建築事務所。建築設計だけでなく、まちづくりの共創等、人が集まる場のソフト面の仕組みづくり等幅広い業務を実施
- ・ (株)フラットエージェンシー  
京都に本拠を置く不動産仲介業者。空き地を活用したコミュニティスペースの整備・運営協力等、地域資源を活用したまちづくりも実施

### 2 試行的利用内容

平成22年度の事務所集約に伴い、資材置き場等となっていた船岡山公園の旧公園管理事務所棟を拠点に、「地域が主体の公園利活用・運営」を目指した仕組みの構築を目指します。

#### (1) 公園管理

試行的利用者は、手始めに2月1日（火）から試行的利用として定期的な公園内の巡回、ごみ拾い、公園トイレへのトイレトペーパーの設置等の公園管理を自主的に行います。

(2) 公園利用の協力及び連携した体制づくり

来園者との対話等を通じて公園の利用状況等を把握するとともに、令和4年4月から、公園利用団体の主催者の方々との交流会等を通じて、産学公民など多様な主体が連携する機会を創出し、船岡山公園ならではの理想像を模索しつつ、公園を拠点にした地域活性化の具体的な取組を展開していきます。

3 試行的利用期間

令和4年2月1日（火）～令和5年3月31日（金）

4 その他

試行的利用の継続が困難となる課題が生じた場合等は、試行的利用を中止する場合があります。

5 問合せ

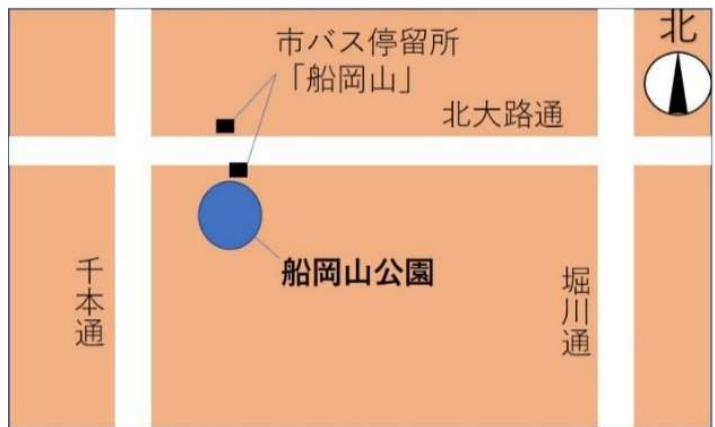
京都市建設局みどり政策推進室 公園利活用企画担当

電話：075-222-4113

※ 現地公園管理事務所の電話番号は令和4年4月以降に開設予定

6 位置図

船岡山公園  
（京都市北区紫野北舟岡町4 2他）



7 備考

<本事業の狙い>

来園者	<ul style="list-style-type: none"><li>公園の魅力や利便性，安全性が向上する。</li><li>地域が活性化する。</li></ul>
民間企業等	<ul style="list-style-type: none"><li>通常は認められない利活用ができる。</li><li>公園利活用のアイデアをテストできる。</li><li>市民や行政の反応を確認できる。</li><li>活動拠点を獲得できる。</li></ul>
本市	<ul style="list-style-type: none"><li>民間のアイデアや資金を活用しながら公園の魅力向上策を検討できる。</li><li>公園に対する市民や民間企業等のニーズを把握できる。</li><li>資産を有効活用できる。</li><li>公園使用料等の収入が期待できる。</li></ul>